

国の地域経済基盤強化対策

大館周辺広域圏を地域選定

市議会九月定例会が招集された九月五日、小畑市長が行政報告をしました。その中から、主なものの要旨をお伝えします。

なお、今定例会で審議された案件等については十月一日号でお知らせします。

大館地区多目的ドーム

(仮称)について

多目的ドームの建設は、去る三月二十八日に県のコンペ優秀案が選定されて以来、九年度のオープンに向けて着々と準備が進められています。

多目的ドームは、大館市が始まって以来のビッグプロジェクトであり、今後の事業を予定通り推進していくためには担当組織の一元化と強化を図っていく必要があります。そのため、去る七月一日付で「大館地区多目的ドーム(仮称)開設準備室」を企画部地域振興課内に新設し、専従一人を含む三人の職員を配置しました。

県が施工するドーム関係部分の

事業については、数度にわたる県市、伊東豊雄建築設計事務所・竹中工務店設計共同企業体の三者事前協議を踏まえて、現在は基本設計に取り掛かっています。六年度中には実施設計を行い、いよいよ来年度から本體工事に着手する予定です。

一方、市が施工する周辺整備関係の事業については、本年度にドーム周辺整備基本設計等を行い、来年度には実施設計、そして工事着手という段取りを進めていく予定です。なお、市議会並びに市民団体からいただいたご指摘、ご提言、ご要望については、計画の中に適宜組み入れていきたいと思えます。

また、ドームの構造材に使用する秋田杉の大断面集成材を地元で

生産できるように、現在、会社設立に向けて民間サイドでの準備が進められています。会社の建設場所は花岡の同和鉱業所有地を候補地とし、土地の価格提示をお願いするなど、目下交渉中です。

新会社はドームの竣工後も操業を続ける計画で、同社が設立されることによって、鉾山の閉山に沈む花岡地区の振興が図られるのももちろん、雇用の創出にもつながります。本市としても「大館市工場設置促進条例」による奨励措置を講じるなど、積極的な支援を展開していきたいと考えています。

今後本事業の推進には全力を傾注していきますので、ご指導とご協力をお願いします。

大館能代空港について

大館能代空港の建設事業は、去る六月三日に入札が行われ、現在は本體工事が始まっています。本年度の工事内容は、作業道整備、

配水管敷設、調節池四カ所の設置、土量三十四万立方メートルの切り土・盛り土試験、空港本體の地下を通る道路二百メートルの付け替え工事等です。現在までのところ連日の好天に恵まれて、作業は予定以上に順調に進んでいるようです。

また運輸省では、七年度政府予算に、大館能代空港設置事業費として総額八十八億一千百万円、うち国費四十四億三千三百万円を概算要求に盛り込むことを決定しました。工事内容は本年度同様、用地造成、切り土・盛り土二百二十万立方メートル、基盤改良等となっております。

さらに大館能代空港建設促進期成同盟会では、空港を核とした地域振興を図るため、県の協力を得て、去る八月一日に大館能代空港利活用研究会を発足させました。研究会は、県北十八市町村の各種団体から推薦された人で構成される、農林漁業、商工業、観光の三研究部会を設けており、それぞれ

専門分野での研究が期待されています。今後はこの研究会に、国土庁が実施している地域振興アドバイザー制度を導入しながら、民間活力の積極的な活用による地域振興を図っていききたいと考えています。

各研究部会は研究テーマを絞り込み、本年度中には具体策の検討を終えることになっていきます。その結果がまとまり次第、ご報告したいと思えます。今後も同盟会の活動には一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

小坂鉄道の

旅客営業廃止への

同意について

五月十一日に小坂製錬株式会社から発表された合理化案の中に、明治以来地域の交通機関の役割を果たしてきた小坂鉄道の旅客営業を、九月末日で廃止するという案が提示されました。

旅客営業の廃止については「地元地方自治体から同意を得るよう」という運輸省の指導により、七月五日付で同社から市へ、旅客営業廃止について同意して欲しいと文書で依頼がありました。

市としては同社からの合理化案発表後、市議会をはじめとする関係諸団体に説明し、協議を重ねました。その結果、同意についての判断は市議会から市長へ一任され